

## ツキノワグマ管理事業実施計画書

令和2年度ツキノワグマ管理事業実施計画書(県実施分)(案).....	p2~4
平成30年度ツキノワグマ管理事業実績報告書(県実施分).....	p5~8
平成31年度ツキノワグマ管理事業実施計画書(市町村分).....	p9~23
平成30年度ツキノワグマ管理事業実績報告書(市町村分).....	p24~35

令和元年8月

宮城県環境生活部自然保護課

令和2年度ツキノワグマ管理事業実施計画(案)

宮城県

※下線部はH31計画からの変更箇所

H31計画		R2計画(案)		備考
1	<p>被害防除対策</p> <p>(1) 市町村における被害防止体制整備への支援、指導を行う。</p> <p>(2) 補助事業による被害防止資材設置の推進等により、スギ等壮齡林への皮剥ぎ被害対策への支援を行う。</p> <p>(3) 出没位置の情報収集及びホームページでの情報提供を行う。Googleマップを利用した出没位置の可視化を行う。</p> <p>(4) 農林業者に対し防護柵等設置の指導を行う。</p> <p>(5) 前年度までを含む目撃情報、捕獲情報、被害情報、山林の植生状況、ツキノワグマの痕跡を調査することにより、県内数箇所に存在するとされているツキノワグマの大規模生息域の確認及びその範囲の程度を推定する。</p> <p>(6) 緊急時の捕獲許可権限の移譲を希望し、かつ、体制の整っている市町村へ許可権限移譲を進める。</p>	<p>被害防除対策</p> <p>(1) 市町村における被害防止体制整備への支援、指導を行う。</p> <p>(2) 補助事業による被害防止資材設置の推進等により、スギ等壮齡林への皮剥ぎ被害対策への支援を行う。</p> <p>(3) 出没位置の情報収集及びホームページでの情報提供を行う。Googleマップを利用した出没位置の可視化を行う。</p> <p>(4) 農林業者に対し防護柵等設置の指導を行う。</p> <p>(5) [令和元年度宮城県ツキノワグマ大規模生息域調査業務]の調査結果をベースとし、県内のツキノワグマの個体数推定を行う。</p> <p>(6) 緊急時の捕獲許可権限の移譲を希望し、かつ、体制の整っている市町村へ許可権限移譲を進める。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>森林整備課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p>	
2	<p>個体数管理</p> <p>(1) 県が蓄積している出没・捕獲・人身被害等に関する情報の地図化・分析による県内のクマの生息動向の把握に努める。</p>	<p>個体数管理</p> <p>(1) 県が蓄積している出没・捕獲・人身被害等に関する情報の地図化・分析による県内のクマの生息動向の把握に努める。</p>	<p>自然保護課</p>	
3	<p>生息環境管理</p> <p>(1) 緩衝帯設置の推進 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>(2) ツキノワグマ本来の生息区域である奥山の針葉樹人工林について、補助事業による間伐等の推進により針広混交林化を促すなど、多様性に富む森林環境を醸成する取組について支援する。</p> <p>(3) 生息環境の変化がツキノワグマに与える影響を把握するための基礎資料として、樹木の結実状況等を林業技術総合センターや森林管理署等の協力を得て調査する。</p>	<p>生息環境管理</p> <p>(1) 緩衝帯設置の推進 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>(2) ツキノワグマ本来の生息区域である奥山の針葉樹人工林について、補助事業による間伐等の推進により針広混交林化を促すなど、多様性に富む森林環境を醸成する取組について支援する。</p> <p>(3) 生息環境の変化がツキノワグマに与える影響を把握するための基礎資料として、樹木の結実状況等を林業技術総合センターや森林管理署等の協力を得て調査する。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>森林整備課</p> <p>自然保護課</p>	

平成30年度

ツキノワグマ管理事業実績報告書(県実施分)

令和元年8月

宮城県環境生活部自然保護課

3 生息環境管理  
 (1) 緩衝帯設置の推進  
 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。

(2) ツキノワグマ本来の生息区域である奥山の針葉樹人工林について、補助事業による間伐等の推進により針広混交林化を促すなど、多様性に富む森林環境を醸成する取組を支援する。

(3) 生息環境の変化がツキノワグマに与える影響を把握するための基礎資料として、樹木の結実状況等を林業技術総合センターや森林管理署等の協力を得て調査する。

4 その他  
 (1) 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。  
 (計画作成済み市町村 クマ対象 20市町村)  
 ※ H29.10末時点

(2) 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。

3 生息環境管理  
 (1) 緩衝帯設置の推進  
 研修会により、取組を推進した。

(2) 国庫補助事業を活用した間伐等を実施し、針葉樹林への広葉樹の導入や里山林の適正な管理を促進した。

(3) 東北森林管理局による宮城県のプロナの結実予測は並作であった。(豊作・並作・凶作・大凶作の4段階)。県独自のプロナの豊凶調査を実施し、結実結果は豊作であった。(豊作・並作・凶作の3段階)。

4 その他  
 (1) 111市町について、ツキノワグマにかかる計画の変更を支援した。  
 (気仙沼市、岩沼市、登米市、栗原市、大崎市、富谷市、柴田町、川崎町、松島町、大衡村、色麻町)

(2) 普及指導員2名を国の研修に派遣し、職員の育成に努めるとともに、各地域での被害対策を推進した。

【農山漁村なりわい課】  
 計画通り実施でき  
 た。引き続き、地域にお  
 ける取組を推進する。

【森林整備課】  
 今後、クマの生息環  
 境にも資する適正な森  
 林整備を進めるため、  
 関係事業者の活用につ  
 いて森林所有者へ働き  
 かける。

【自然保護課】  
 引き続き調査を行っ  
 ていく。

【農山漁村なりわい  
 課】  
 計画通り実施でき  
 た。引き続き、計画の作  
 成及び変更を支援す  
 る。

【農山漁村なりわい  
 課】  
 計画通り実施でき  
 た。引き続き、農作物被  
 害対策の指導を担う職  
 員を養成し地域での対  
 策を推進する。

平成31年度

ツキノワグマ管理事業実施計画書(市町村実施分)

ツキノワグマ

白石市	12
蔵王町	13
七ヶ宿町	14
川崎町	15
仙台市	16
大和町	18
大衡村	19
大崎市	20
色麻町	21
加美町	23
栗原市	24

令和元年8月

宮城県環境生活部自然保護課

平成31年度ツキノワグ管理事業実施計画（市町村分）

蔵王町

H30計画	H31計画	備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績)</p> <p>6.93 ha 6.49 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績)</p> <p>2,849 千円 2,691 千円</p> <p>(3) 作物 デントコーン、柿、日本梨、桃、林檎、甘藷、スイートコーン</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績)</p> <p>6.93 ha 5.19 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績)</p> <p>2,749 千円 2,136 千円</p> <p>(3) 作物 デントコーン、柿、日本梨、桃、林檎、甘藷、スイートコーン</p> <p>(4) その他</p>	<p>面積、金額ともに平成28年度の90%に抑えることを目標としている。</p> <p>被害の多いデントコーンを中心に電気柵や有害鳥獣駆逐用火花による被害防除を実施。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。</p> <p>(2) 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。</p> <p>(3) 人身被害の未然防止のため、又は被害対策防除措置を講じても農林業被害等を防ぎきれない場合に捕獲を実施する。</p> <p>(4) 有害鳥獣駆逐用火花による被害防除を実施。</p> <p>(5)</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。</p> <p>(2) 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。</p> <p>(3) 人身被害の未然防止のため、又は被害対策防除措置を講じても農林業被害等を防ぎきれない場合に捕獲を実施する。</p> <p>(4) 有害鳥獣駆逐用火花による被害防除を実施。</p> <p>(5)</p>	<p>年間被害対策費合計 11277 千円</p> <p>被害農家が自主防除対策を行っているにも関わらず被害が発生している場合に有害捕獲を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>蔵王町農作物有害鳥獣対策協議会町補助金 8,400千円</li> <li>野生鳥獣被害防止施設(電気柵等)設置事業補助金 2,000千円</li> <li>蔵王町狩猟免許所得促進事業補助金 877千円</li> </ul>
<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p> <p>4 その他</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p>	<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p> <p>4 その他</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p>	

平成31年度ツキノワグマ管理事業実施計画（市町村分）

川崎町

H30計画		H31計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 3.70 ha 7.54 ha (2) 金額(下段前年度実績) 1,437 千円 2,053 千円 (3) 作物 デントコーン・果樹類等 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 0.25 ha 0.35 ha (2) 金額(下段前年度実績) 119 千円 169.8 千円 (3) 作物 デントコーン・果樹類等 (4) その他			被害面積、金額ともに昨年の3割減を目標とする。
2 被害防除対策 ・捕獲隊による捕獲活動の実施 ・電気柵の普及、補助 ・広報等での有害鳥獣の対策紹介	2 被害防除対策 ・捕獲隊による捕獲活動の実施 ・電気柵の普及、補助 ・広報等での有害鳥獣の対策紹介			年間被害対策費合計 15,908 千円 ①R1農作物有害鳥獣駆除対策業務金 2,828 千円 ②緊急捕獲ツキノワグマ分 80千円 ③電気柵補助金 13,000千円 (イノシシ、ツキノワグマ、ニホンザル含む)
3 生息環境管理	3 生息環境管理			
4 その他	4 その他			

<p>3 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山林に入る際の注意などクマに出会わないための対策をホームページやチラシ、講座などで啓発。</li> <li>・登山や川遊び等、行楽の際のごみの持ち帰りの呼びかけなど、クマを引き寄せない環境づくりの推進。</li> <li>・出没が頻発する地域の住民への刈り払いや除草、電気柵設置等の推奨。</li> </ul> <p>4 その他</p>	<p>3 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山林に入る際の注意などクマに出会わないための対策を市ホームページやチラシ、講座などで啓発</li> <li>・登山や川遊び等、行楽の際のごみの持ち帰りの呼びかけなど、クマを引き寄せない環境づくりの推進</li> <li>・出没が頻発する地域の住民への刈り払いや除草、電気柵設置等の推奨</li> </ul> <p>4 その他</p>	
--	--	--



平成31年度ツキノワグマ管理事業実施計画（市町村分）

大衡村

H30計画		H31計画		備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績)</p> <p>ha 0.00 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績)</p> <p>千円 0 千円</p> <p>(3) 作物 水稲・野菜・果樹</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績)</p> <p>ha 0.00 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績)</p> <p>千円 0 千円</p> <p>(3) 作物 水稲・野菜・果樹</p> <p>(4) その他</p>			
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 目撃情報が報告された際には村の防災行政無線等で、注意喚起情報を周知徹底する。</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p> <p>(4)</p> <p>(5)</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 目撃情報が報告された際には村の防災行政無線等で、注意喚起情報を周知徹底する。</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p> <p>(4)</p> <p>(5)</p>			年間被害対策費合計 千円
<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するように農家への指導を徹底する。</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p>	<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するように農家への指導を徹底する。</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p>			
<p>4 その他</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p>	<p>4 その他</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p>			

平成31年度ツキノワグマ管理事業実施計画（市町村分）

色麻町

H30計画	H31計画	備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績) 0.63 ha 0.95 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) 567 千円 368 千円</p> <p>(3) 作物 野菜, 飼料作物</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績) 0.87 ha 1.50 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) 339 千円 564 千円</p> <p>(3) 作物 野菜, 飼料作物</p> <p>(4) その他</p>	
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) チラシ配布による広報活動</p> <p>(2) 有線放送による注意喚起</p> <p>(3) 狩猟免許等を更新した者及び更新した者に対し, 助成金を交付する(色麻町狩猟免許取得等助成金)。</p> <p>(4) 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金を活用し, 侵入防止策の設置や被害防除研修会等を開催する(主体は色麻町有害鳥獣対策協議会)。</p> <p>(5)</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) チラシ配布による広報活動</p> <p>(2) 有線放送による注意喚起</p> <p>(3) 狩猟免許等を更新した者及び更新した者に対し, 助成金を交付する(色麻町狩猟免許取得等助成金)。</p> <p>(4) 鳥獣被害対策アドバイザーによる現地指導等。</p> <p>(5) 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金を活用し, 侵入防止策の設置や被害防除研修会等を開催する(主体は色麻町有害鳥獣対策協議会)。</p>	<p>年間被害対策費合計 14844 千円</p> <p>・色麻町狩猟免許取得等助成金 528千円</p> <p>・色麻町鳥獣被害対策実施隊員報酬 170千円</p> <p>・色麻町鳥獣被害対策実施隊員費用弁償 25千円</p> <p>・色麻町鳥獣被害対策アドバイザー業務委託 3,344千円</p> <p>・宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金 10,777千円</p>

平成31年度ツキワグマ管理事業実施計画（市町村分）

加美町

H30計画		H31計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 2.50 ha 3.00 ha (2) 金額(下段前年度実績) 210 千円 244 千円 (3) 作物 水稻, いも類, 飼料用作物, 野菜 (4) その他	被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 3.00 ha 4.61 ha (2) 金額(下段前年度実績) 244 千円 254 千円 (3) 作物 飼料作物・野菜・果樹 (4) その他	1割から2割の減を目標とする。		
2 被害防除対策 (1) 電気柵の設置に対する補助を実施する。 (2) 目撃情報を地域に周知し, 注意・啓発を図る。 (3) (4) (5)	2 被害防除対策 (1) 電気柵の設置に対する補助を実施する。 (2) 目撃情報を地域に周知し, 注意・啓発を図る。 (3) (4) (5)			年間被害対策費合計 千円 町鳥獣被害防止対策協議会助成事業を活用する。 広報誌、HP等を活用する。
3 生息環境管理 (1) 耕作放棄地での除草作業を推進する。 (2) 果実, 野菜等の未収穫放置を防止する。 (3)	3 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の刈払いを推進する。 (2) 果実, 野菜等の未収穫放置を防止する。 (3)			広報誌、HP等を活用する。
4 その他 (1) 入山時の被害防止について周知する。 (2) 町鳥獣被害対策協議会活動の周知を図る。 (3)	4 その他 (1) 入山時の被害防止について周知する。 (2) 実施隊員によるパトロールの実施 (3)			広報誌、HP等を活用する。

<p>4. その他  (1) 目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、注意・啓発を図り、目撃並びに被害箇所の現地確認等を実施する。  (2)  (3)</p>	<p>4. その他  (1) 目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、注意・啓発を図り、目撃並びに被害箇所の現地確認等を実施する。  (2)  (3)</p>	
--	--	--

平成30年度ツキノワグマ管理事業の実施と評価（市町村分）

白石市

H30計画		H30実績		評価
1 被害軽減目標		1 被害状況		被害面積は減少したが、デントコーンの被害が甚大で、金額は増加した。引き続き、防除対策を強化していく。
(1) 面積(下段前年度実績)	2.34 ha 2.60 ha	(1) 面積	1.95 ha	
(2) 金額(下段前年度実績)	159.9 千円 177.6 千円	(2) 金額	749.0 千円	
(3) 作物 トウモロコシ、水稻、栗、柿		(3) 作物 飼料作物、果樹		
(4) その他		(4) その他		
2 被害防除対策		2 被害防除対策		H30年度被害対策費合計 150 千円 電気柵設置38件1,514,000円を補助した。 被害防除の研修会を開催し、啓発を図った。 6頭捕獲した。(うち1頭は錯誤捕獲による市町村口頭許可)
(1) 電気柵・防護柵の設置に対する補助を継続して行う。		(1) 電気柵・防護柵の設置に対する補助を継続して行った。		
(2) 未収穫の作物を適正処理するよう農家へ指導を行う。		(2) 回覧等で未収穫の作物を適正処理するよう指導した。		
(3) 目撃情報を地域に周知し、注意・啓発を図る。		(3) 看板やチラシで目撃情報を周知し、注意・啓発を行った。		
(4) 有害個体の捕獲及び放獣。		(4) 有害捕獲を行った。		
(5)		(5)		
3 生息環境管理		3 生息環境管理		
(1) 青刈トウモロコシの被害削減のため畑周辺の除草作業を推進する。		(1) 被害削減のため畑周辺の除草作業を推進した。		
(2) 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進する。		(2) 山林に接する耕作地での除草作業を推進した。		
(3)		(3)		
4 その他		4 その他		
(1)		(1)		
(2)		(2)		
(3)		(3)		

平成30年度ツキノワグマ管理事業の実施と評価（市町村分）

七ヶ宿町

H30計画		H30実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 0.10 ha 0.02 ha (2) 金額(下段前年度実績) 300 千円 22 千円 (3) 作物 野菜、果樹 (4) その他		1 被害状況 (1) 面積 0.01 ha (2) 金額 11.2 千円 (3) 作物 野菜 (4) その他		前年度に引き続き、被害面積及び被害金額の減少に至った。今後も引き続き、電気柵等の設置の推奨に努める。
2 被害防除対策 (1) 電気柵設置の推奨 (2) (3) (4) (5)		2 被害防除対策 (1) 広報誌等を活用し、電気柵等の設置の推奨を行った。 (2) (3) (4) (5)		H30年度被害対策費合計 40,354 千円 ツキノワグマの出没はあったものの、電気柵等の設置により被害を減少することができた。
3 生息環境管理 (1) 取り残し農作物の除去 (2) 農地周辺の除草作業の実施 (3) 耕作放棄地の軽減		3 生息環境管理 (1) 指導を行ったが、未収穫野菜等の放棄があった。 (2) 定期的に農地周辺の除草作業を実施するよう広報を行った。 (3) 耕作放棄地の軽減には至らなかった。		農作物の除去及び耕作放棄地の軽減の周知の徹底を継続して行う。
4 その他 (1) (2) (3)		4 その他 (1) (2) (3)		

平成30年度ツキノワグマ管理事業の実施と評価 (市町村分)

仙台市

H30計画	H30実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.79ha未満 (前年度実績0.02ha)</p> <p>(2) 金額 740千円未満 (前年度実績13千円)</p> <p>(3) 作物 水稲、柿、りんご、栗、梨等</p> <p>(4) その他 (人身被害・生活被害)</p> <p>誘引物(ツキノワグマのエサとなる果樹や蜂の巣、生ごみ等)の除去や適切な管理を所有者に呼びかけ、注意喚起を行うことにより、生活被害の減少や人身被害の未然防止を目指す。</p>	<p>被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.01ha</p> <p>(2) 金額 91千円</p> <p>(3) 作物 柿、かばちや、たけのこ、とうもろこし、さつまいも等</p> <p>(4) その他 (人身被害・生活被害)</p> <p>人身被害 なし</p> <p>生活被害 なし</p>	<p>面積、金額ともに目標を達成。また、市内における人身被害等の発生もなかった。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 日常的な啓発・注意喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページ「クマ出没情報マップ」及び「仙台市メール配信サービス」により、クマの出没情報を提供。</li> <li>・出没が多い地域において、市民向けクマ対策啓蒙講座の開催、地区まつりへの出展等により、クマの生態やクマを誘引・遭遇しないための対策について啓発</li> <li>・クマの誘引物となる果樹の幹へのトタン巻きの推奨。</li> <li>・市政だよりや市ホームページ等での広報及び公共施設での啓発チラシの配架。</li> </ul> <p>(2) 出没情報を受けた際の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管轄警察署と適宜連携し、出没地周辺の確認及び広報車による巡回広報を実施。</li> <li>・市街地や民家近くでの出没の場合、専門業者による誘引物や移動経路に関する現地調査を実施。必要に応じて周辺住民に果実の収穫等の被害防止策を助言・指導。</li> <li>・出没地区の幼稚園、小中学校等の教育施設及び保育所等の児童福祉施設への速やかな周知。</li> <li>・出没状況により、火花による追い払い、クマ出没注意看板設置、町内会を通じた出没情報の周知等を実施。</li> </ul>	<p>被害防除対策</p> <p>(1) 日常的な啓発・注意喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クマの出没が多い地域の市民センターや学校等でクマ対策啓蒙講座を計7回開催。(約1,000名参加)</li> <li>・泉区、宮城総合支所及び秋保総合支所で開催された地区祭りにおいて、クマを誘引・遭遇しないための対策等について出展啓発。(約440名に啓発)</li> <li>・せんだい環境学習館「たまささんサロン」にて、クマの生態と被害防除法等について紹介する啓蒙展「仙台とクマ展」を開催。(約150名来場)</li> <li>・果樹の幹へのトタン巻の実施(青葉区上愛子字白沢地区)</li> <li>・市政だよりへの注意喚起の掲載。(3回)</li> <li>・市ホームページでの注意喚起に加え、啓発チラシについて、公共施設への配架や地域住民への配布を実施。</li> </ul> <p>(2) 出没情報を受けた際の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管轄警察署と適宜連携し、出没地周辺の確認及び広報車による巡回広報を実施。</li> <li>・出没場所に応じて、専門業者による現地調査を実施し、適宜周辺住民への被害防除策の助言・指導を実施。</li> <li>・出没地区の幼稚園、小中学校等の教育施設及び保育所等の児童福祉施設に對し速やかに周知。</li> <li>・出没状況により、火花による追い払い、クマ出没注意看板設置、町内会を通じた出没情報の周知等を実施。</li> <li>・「仙台市メール配信サービス」(107通)や市ホームページの「クマ出没情報マップ」(アクセス数8,410件)にて、出没情報の発信。(平成30年度出件数 214件)</li> </ul>	<p>H30年度被害対策費合計 4893千円</p> <p>計画どおり日常的な啓発や出没の際の注意喚起、必要に応じて捕獲を実施。</p>

平成30年度ツキノワグマ管理事業の実施と評価（市町村分）

大衡村

H30計画		H30実績		評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績)</p> <p style="text-align: right;">ha</p> <p style="text-align: center;">0.00 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績)</p> <p style="text-align: right;">千円</p> <p style="text-align: center;">0 千円</p> <p>(3) 作物 水稲・野菜・果樹</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積</p> <p style="text-align: right;">0.00 ha</p> <p>(2) 金額</p> <p style="text-align: right;">0.0 千円</p> <p>(3) 作物</p> <p>(4) その他</p>			
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 目撃情報が報告された際には村の防災行政無線等で、注意喚起情報を周知徹底する。</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p> <p>(4)</p> <p>(5)</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 目撃情報が報告された際には村の防災行政無線等で、注意喚起情報を周知徹底した。</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p> <p>(4)</p> <p>(5)</p>			H30年度被害対策費合計 千円
<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するように農家への指導を徹底する。</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p>	<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するように農家への指導を徹底した。</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p>			
<p>4 その他</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p>	<p>4 その他</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p>			



平成30年度ツキノワグマ管理事業の実施と評価（市町村分）

色麻町

H30計画		H30実績		評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績)</p> <p>0.63 ha 0.95 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績)</p> <p>567 千円 368 千円</p> <p>(3) 作物 野菜, 飼料作物</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積</p> <p>1.50 ha</p> <p>(2) 金額</p> <p>564.0 千円</p> <p>(3) 作物 飼料作物, 野菜</p> <p>(4) その他 人身被害1件</p>	<p>飼料作物の被害が増加した。</p>		
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) チラシ配布による広報活動</p> <p>(2) 有線放送による注意喚起</p> <p>(3) 狩猟免許等を更新した者及び更新した者に対し, 助成金を交付する(色麻町狩猟免許取得等助成金)。</p> <p>(4) 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金を活用し, 侵入防止柵の設置や被害防除研修会等を開催する(主体は色麻町有害鳥獣対策協議会)。</p> <p>(5)</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) チラシ配布による広報活動</p> <p>(2) 有線放送による注意喚起</p> <p>(3) 狩猟免許等を更新した者及び更新した者に対し, 助成金を交付した。(色麻町狩猟免許取得等助成金)。</p> <p>(4) 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金を活用し, 侵入防止柵の設置や被害防除研修会等を開催した(主体は色麻町有害鳥獣対策協議会)。</p> <p>(5)</p>	<p>H30年度被害対策費合計 5480 千円</p> <p>・色麻町狩猟免許取得等助成金 206千円</p> <p>・色麻町有害鳥獣捕獲担い手支援事業補助金 500千円</p> <p>・色麻町鳥獣被害対策実施隊員報酬 148千円</p> <p>・色麻町鳥獣被害対策実施隊員費用弁償 14千円</p> <p>・宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金 4,612千円</p>		
<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 地域が主体となり, 定期的に草刈り等を行う。</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p> <p>4 その他</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p>	<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 地域が主体となり, 定期的に草刈り等を行った。</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p> <p>4 その他</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p>			

平成30年度ツキノワグマ管理事業の実施と評価 (市町村分)

栗原市

H30計画		H30実績		評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績)</p> <p>1.27 ha 0.26 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績)</p> <p>933 千円 165 千円</p> <p>(3) 作物 水稻、デントコーン、果樹</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積</p> <p>0.52 ha</p> <p>(2) 金額</p> <p>197 千円</p> <p>(3) 作物 とうもろこし、デントコーン、果樹</p> <p>(4) その他</p>	<p>・平成29年度と比べ、被害額と被害額がともに増加しており、デントコーンやとうもろこしといった作物への被害の他に、家畜用の飼料や家畜そのものに対する被害報告の件数も多かった。出役(目撃)件数は231件となった。</p>	<p>・平成29年度と比べ、被害額と被害額がともに増加しており、デントコーンやとうもろこしといった作物への被害の他に、家畜用の飼料や家畜そのものに対する被害報告の件数も多かった。出役(目撃)件数は231件となった。</p>	
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 防護柵(電気柵等)設置の補助を行う。</p> <p>(2) 目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、注意・啓発を図る</p> <p>(3) 人身被害の未然防止又は被害防除対策を講じても、農林業被害等を防ぎきれない場合は有害個体の捕獲を実施する。</p> <p>(4)</p> <p>(5)</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 防護柵(電気柵等)設置補助事業について、41名の申請を受付。</p> <p>(2) ツキノワグマ出没情報について、231件の報告を受付。各地区総合支所、警察署、小中学校及び幼稚園等に情報提供。</p> <p>(3) ツキノワグマ有害鳥獣捕獲について、16件実施し、6頭捕獲(内、3頭についてはくりわりなによる錯誤捕獲)。</p> <p>(4)</p> <p>(5)</p>	<p>H30年度被害対策費合計 1,968 千円</p> <p>被害対策経費内訳</p> <p>・電気柵購入補助 1,510千円</p> <p>・狩猟免許取得及銃所持許可取得事業補助金 458千円</p> <p>・防護柵等の設置により被害防除、予防が図られた。</p> <p>・情報を関係機関等と共有し、また、周知を行い、市民の安全を確保することができた。目撃及び被害箇所の現地確認等を迅速に実施することができた。</p> <p>・被害防除対策を講じても、農林業被害等を防ぎきれない場合の有害捕獲を実施した。</p>	<p>H30年度被害対策費合計 1,968 千円</p> <p>被害対策経費内訳</p> <p>・電気柵購入補助 1,510千円</p> <p>・狩猟免許取得及銃所持許可取得事業補助金 458千円</p> <p>・防護柵等の設置により被害防除、予防が図られた。</p> <p>・情報を関係機関等と共有し、また、周知を行い、市民の安全を確保することができた。目撃及び被害箇所の現地確認等を迅速に実施することができた。</p> <p>・被害防除対策を講じても、農林業被害等を防ぎきれない場合の有害捕獲を実施した。</p>	